

福田はぎの教授 略歴・主要業績

【略歴・職歴】

- 1973年3月 日本女子大学家政学部家政経済学科 卒業
1976年3月 東京教育大学大学院農学研究科修士課程農村経済学専攻修士課程
修了（農学修士）
1985年3月 立教大学大学院博士課程経済学専攻満期退学
1985年4月 立教大学経済学部助手（～1988年3月）
1988年4月 日本女子大学農家生活研究所非常勤研究員
（1979～1992年 立教大学、和洋女子大学、日本女子大学 その他非常勤講師勤務）
1992年4月 文教大学教育学部助教授
2001年4月 文教大学教育学部教授
2014年4月 文教大学教育学部教務委員長
2015年4月 文教大学教育学部学校教育課程長（～17年3月、関連委員・委員長併任）



【大学における専門領域】

家庭経営学、経済学

【所属学会】（現在）

- 日本家庭科教育学会
日本家政学会
日本経済思想史研究会

【学会及び社会的な活動】

- 1989年4月 日本農村生活研究会誌編集委員（～1993年3月）
1988年9月 日本家政学会家政学原論部会幹事（～1991年8月）
1991年4月 日本家政学会将来構想特別委員（～1993年3月）
1991年8月 日本家政学会原論部会第3回常見研究奨励賞受賞
1991年9月 日本家政学会家政学原論部会常任委員（～2008年8月）
1992年4月 日本農村生活研究会理事（～1996年3月）
1992年7月 日本家政学会誌編集委員（その後、2年任期断続的に3回就任）
1998年4月 越谷市消費者保護委員（～2008年6月、2004年から同委員長）
2002年4月 新版家政学事典刊行委員（～2004年3月）
2002年9月 日本家政学会家政学原論部会長（～2008年8月）
2003年4月 日本石門心学会理事（～2015年4月）
2011年4月 吉川市男女共同参画審議会委員（～2016年）
2011年5月 彩の国NPO・大学ネットワーク役員（～2014年3月）
2013年6月 越谷しらこぼと基金運営委員（～2017年5月）
2013年8月 越谷市防災会議委員（現在に至る）

2012年4月 2014年4月 越谷市教員研修プロジェクト指導法改善「家庭科」部会担当（現在に至る）

【主要業績】

著書

- 1982年 家政経済論（日本女子大学家政学シリーズ）朝倉書店（分担執筆）
1989年 現代日本の労働と生活 第一書林（分担執筆）
1984年 現代の生活問題 第一書林（分担執筆）
1988年 日本近代化の思想と展開 文献出版（分担執筆）
1990年 家政学概論（日本女子大学家政学シリーズ）朝倉書店（分担執筆）
1990年 日本の経済思想四百年 日本経済評論社（分担執筆）
1990年 家政学事典 朝倉書店（分担執筆）
1996年 事典家族 弘文堂（分担執筆）
1998年 日本史小百科 近代 経済思想 東京堂出版（分担執筆）
2003年 介護福祉士養成講座⑧家政学概論 中央法規出版（分担執筆）
2004年 家政学 未来への挑戦（監修・翻訳）

論文

- 1977年 日本における家族と「家」の関連性をめぐる問題 日本女子大学『家政経済学論叢』第13号
1977年 近世末期農村における「家」および家族の一考察 村落社会研究会『村落社会研究会年報』第15号
1979年 近代日本における農家生活の一考察 日本女子大学『家政経済学論叢』第15号
1982年 婦人労働者の意識と実態—職業と家庭生活をめぐって— 労働調査協議会『労働調査』通巻174号（分担執筆）
1984年 現代の「家族と経済」に関する一考察 日本家政学会『家庭経営学部会報』No.16
1988年 明治期豪農の研究 立教大学『立教経済学研究』39-3
1990年 家政学における家庭生活のとらえ方 日本家政学会『家政学原論部会報』No.24
1991年 大正期耕作地主と小商品生産 立教大学『立教大学経済学研究』44-4
1991年 韓国における農家生活の現状 日本女子大学『農家生活研究所所報』第10号（分担執筆）
1992年 生活研究方法としての家政経済学 日本女子大学家政経済学会『家政経済学論叢』28号
1993年 家政学と「生活」『日本家政学会誌』44-3
1993年 家族理論と家政学 日本家政学会『家政学原論部会報』No.27
1995年 「家政学と生活科学は同じか」の諸論点 日本家政学会『家政学原論部会報』No.29
1999年 新学習指導要領—家庭科の視点から 文教大学教育研究所紀要第8号
2002年 家政学原論研究の過去と現在 『日本家政学会誌』Vol.53 No.4
2002年 新しい家庭科教科書—児童・生徒の生活実感に迫り得たか— 文教大学教育研究所第11号
2003年 個人・家族・コミュニティと家政学原論 日本家政学会『家政学原論部会報』No.37
2004年 近代農村における経済主体の形成 日本思想史研究会『日本経済思想史研究』第12号
2004年 現在日本人の食生活と食文化 『かんば資金』通巻319号
2007年 「家族・消費者科学教育」から「家庭科教育」を考える 日本家政学会『家政学原論部会報』No.41
2009年 家庭科における言語活動と研修案—「日常生活」とメタ認知世界のあいだで— 文教大学学長調整金成果報告書

- 2009年 家庭科のアイデンティティを再考する 文教大学教育研究所紀要第18号
2013年 家政学原論の現代的方向性についての一試論 日本家政学会『家政学原論部会報』No.48
2015年 今、問われる「家庭力」 文教大学第5回地域連携フォーラム「ありのままに」をどうささえるか報告書

その他

- ・ 2000年 文部科学省検定済教科書 高等学校家庭科用 執筆・監修（現在に至る）
- ・ 2000年 同上、教師用指導書家庭経営学領域解説等（現在に至る）

・ 主な書評

- 1992年 山東純子『21世紀のライフスタイル』（朝倉書店）（『農村生活研究』所収）
1992年 ローラ・シャピロ『家政学の間違い』（晶文社）（『家政学原論部会報』所収）
1996年 今井光映『アメリカ家政学現代史Ⅰ 人間生態学～家族・消費者科学』（光生館）（同上、所収）
1996年 今井光映『アメリカ家政学現代史Ⅱ コンシューマリズム論～ホリズム論』（光生館）（同上、所収）
2005年 『日本の経済学者』（日本経済評論社）（『社会経済史学』所収）
2007年 中間美砂子他『アメリカ家庭科教育指導法』（『家政学原論部会報』所収）
2008年 松野尾裕他『日本における女性と経済学』（『日本経済思想史研究』所収）
2020年 石渡尊子『戦後大学改革と家政学』（『日本家政学会誌』所収）

・ 巻頭言（家政学原論部会下記セミナー）

- 2003年 家政学者のリーダーを考える
2005年 家政学の社会的存在意義—国際的視野から—
2006年 家政学の社会的貢献—教育を通して考える—
2008年 家政学原論部会40周年を迎えて